

2025 年 7 月 3 日  
横浜農業協同組合

## 廃棄トマトを活用した「トマトカルトン」でSDGsを推進

横浜市内の農家から無償提供された廃棄トマトを活用し、JA横浜は全国の金融機関や他のJAでも例のないオリジナルのカルトン『トマトカルトン』を製作しました。「JAにしかできないSDGsの実践」をテーマに、かながわSDGsパートナー企業である株式会社MURONEと共同で開発したものです。

JA横浜は今後も地域の農家と協力し、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを続けてまいります。



### ◆トマトカルトンの概要◆

トマトカルトンは、横浜市内産の廃棄トマトを活用し、トマト含有率40%を実現しました。これにより、既製カルトンと比べて約40%のプラスチックを削減しています。

1個あたり廃棄トマトを約3.7kg分使用し、乾燥粉碎後は約120gとなります。無着色、無塗装で製造され、製造個数は240個です。

完成したトマトカルトンは、6月2日から一部の支店（金融・共済事業等の営業店）で使用を開始し、7月1日からは当JA直営の農産物販売店舗「ハマッ子」直売所でも使われています。

### ◆取り組みの目的◆

この取り組みは、販売することも食べることもできない廃棄農産物を支店や直売所で使用するカルトンに変えることで、廃棄ロス削減と脱プラスチックを実現することを目的としています。JA横浜は、JAらしいSDGs製品を製作することで、以下の効果を期待しています。

- ・横浜産農畜産物への関心向上
- ・「ハマッ子」直売所や、支店への来店喚起
- ・地域担い手農家の支援

## ◆廃棄トマトの活用フロー◆

- ①担い手農家から営農インストラクターが廃棄トマト（落果や未熟果といった食用として利用できない果実）を集荷（計 907kg）



- ②加工・製造は株式会社MURONE（\*）が担当

- ③水洗い、腐食部分のカット、乾燥・粉碎のうえ加工

\* 株式会社MURONE（横浜市鶴見区）はマシニング加工や鋳物加工などを手がける企業で、今回の取り組みは「かながわSDGsパートナー」のマッチング支援を通じてスタートしました。



完成したトマトカルトンを PR する株式会社 MURONE の室根貴之社長と JA 職員

## ◆担当部署コメント◆

企画した「DX戦略室」のコメントです。

「トマトカルトンは、『JAにしかできないSDGsの実現』を目的に製作しました。通常使用されているカルトンと比べると、表面はざらざらとした質感で、色は茶色、ほのかに甘く香ばしい香りがします。これは、使用するプラスチック樹脂の量を最小限に抑えて、着色を行わず廃棄トマトそのものの素材を生かしているためです。触覚・視覚・嗅覚の三つの感覚で楽しめるカルトンですので、ご来店の際はぜひ手に取ってご利用ください」

### ◇横浜農業協同組合 組織概要 \*2025年3月31日現在

創立 : 2003年4月  
本店所在地 : 神奈川県横浜市旭区二俣川 1-6-21  
代表者 : 代表理事組合長 柳下 健一（やなぎした けんいち）  
出資金 : 113億円  
組合員数 : 71,629人（正組合員 10,683人、准組合員 60,946人）  
職員数 : 1,352人  
ホームページ : <https://ja-yokohama.or.jp>

みんなが **WAPPY!**  
やる **JA** 横浜!  
共有ビジョン

総合3カ年計画を遂行するための心構えや姿勢として、組合員・地域・役職員の「みんながHAPPYになれるJAを本気で作りたい!」という共通した思いを表現し掲げるものです。

### ◎取材に関するお問い合わせ先

JA横浜 組織部広報課 林・新保（しんぼ） TEL 045-532-8410（直通） 平日9時～16時  
メール [ml-kouhou@ykh.kn-ja.or.jp](mailto:ml-kouhou@ykh.kn-ja.or.jp)

### ◎本件に関するお問い合わせ先

JA横浜 DX戦略室 居戸・榎本 TEL 045-414-0008（直通） 平日9時～16時  
メール [ml-jigyoukikaku@ykh.kn-ja.or.jp](mailto:ml-jigyoukikaku@ykh.kn-ja.or.jp)